

第3回 医師の働き方改革を進めるための タスク・シフト/シェアの推進に関する検討会	資料3
令和元年11月20日	

現行制度上実施可能な業務について

- 本資料に記載している項目は、「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフティングに関するヒアリング」において、医師から既存職種へタスク・シフト/シェア可能と各団体が整理・提案した業務のうち、「現行制度上実施可能な業務」について記載したもの。
- 現行制度の下で実施可能な業務を（○）、看護師の“特定行為”に該当する業務を（●）として記載。
- 効果（推計）については、業務をシフト/シェアした場合、当該行為を行う医師のある病院における業務時間の実態に基づいて、医師一人あたりの月間の削減可能な時間数を推計したもの（※）。行為によっては、看護師などの他の職種が行っているものも含まれると考えられるが、全て医師が担っているものと仮定して推計。
- 研究班から、関係団体への医師の時短時間についての調査に回答の無かった業務や、医師からタスク・シフトを行うことで新たに発生する業務等については、効果（推計）を“-”としている。

（※） 推計においては、厚生労働行政推進調査事業（政策科学総合研究事業（政策科学推進研究事業））「新しいチーム医療等における医療・介護従事者の適切な役割分担についての研究」において現在行っている調査（分析中）のうち、一定の整理ができた項目をもとに医政局医事課において作成。

No.	業務内容	タスク・シフト/シェア先	医師側団体からの提案に※	現行制度上の可否	備考	主な場面	効果（推計）
■ 助産師							
137	低リスク妊娠を対象とした妊婦健診の一部（助産師外来）	助産師	※	○		外来	3.3時間/月
138	ローリスク妊産婦の妊婦健診	助産師		○		外来	（助産師137と同様）
139	低リスク妊娠を対象とした分娩管理業務の一部（院内助産システム）	助産師	※	○		病棟	1.3時間/月
140	妊産婦の保健指導業務	助産師		○		病棟・外来	44.0時間/月
■ 看護師							
1	直接動脈穿刺法による採血	看護師	※	●		病棟・外来	0.7時間/月
2	直接動脈穿刺法による採血	看護師	※	●		病棟・外来	（看護師1と同様）
4	救急室（救急外来、初療室）を主とする院内・集中治療室における診療補助（動脈穿刺による採血）	看護師	※	●		救急室・集中治療室	0.2時間/月
6	専門病棟（NICU/PICU/血液腫瘍など）での動脈ライン採血	看護師	※	○		集中治療室	0.2時間/月
7	外来・一般小児病棟・専門病棟（NICU/PICU/血液腫瘍など）での採血	看護師	※	○		外来・病棟・集中治療室	<外来で推計> 1.1時間/月
8	外来・一般病棟・専門病棟（NICU/PICU/血液腫瘍など）での静脈路確保	看護師	※	○		外来・病棟・集中治療室集中治療室	<外来で推計> 0.5時間/月
11	CT/MRI造影剤・IVR手技前ルート確保	看護師	※	○		病棟・外来・放射線検査室	6.7時間/月
13	救急室（救急外来、初療室）を主とする院内・集中治療室における診療補助（橈骨動脈ラインの確保）	看護師	※	●		救急室・集中治療室	0.6時間/月
14	中心静脈カテーテルの抜去、末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入、橈骨動脈ラインの確保	看護師	※	●		病棟・集中治療室	0.1時間以下/月
17	末梢挿入中心静脈カテーテル挿入	看護師	※	●		病棟・集中治療室	0.3時間/月
18	専門病棟（NICU/PICU/血液腫瘍など）での末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	看護師	※	●		集中治療室	0.2時間/月
19	専門病棟（NICU/PICU/血液腫瘍など）での末梢留置型中心静脈注射用カテーテル・動脈ラインの抜去	看護師	※	●		集中治療室	0.1時間以下/月
22	皮下埋め込み式CVポートの穿刺	看護師	※	○		病棟	0.1時間/月

※効果（推計）業務をシフト/シェアした場合、当該行為を行う医師のある病院における業務時間の実態に基づいて、医師一人あたりの月間の削減可能な時間数を推計したものの、行為によっては、看護師などの他の職種が行っているものも含まれると考えられるが、全て医師が担っているものと仮定して推計。

No.	業務内容	タスク・シフト/シェア先	医師側団体からの提案に※	現行制度上の可否	備考	主な場面	効果（推計）
23	（I V R後）シース抜去後の止血補助	看護師	※	○		放射線検査室	1.3時間/月
24	C T/M R I 造影剤の注入確認、抜針・止血	看護師・診療放射線技師	※	○		放射線検査室	8.1時間/月 (診療放射線技師24と同様)
26	S P P（皮膚灌流圧）測定	看護師	※	○		病棟・外来・検査室	—
50	鎮静が必要な患者、アレルギーのある患者の検査立会い	看護師	※	○		検査室	0.5時間/月
54	手術の際の手術部位（創部）の消毒 やドレープがけ	看護師	※	○		手術室	1.0時間/月
56	I V R（画像下治療）助手	看護師	※	○		放射線検査室	10.0時間/月
66	術中抹消ルート確保、薬剤・薬液準備、バイタルサイン・処置記録、既設置ルートからの動脈採血と測定	看護師	※	○		手術室	10.2時間/月
75	集中治療室における診療補助（ドレーン類の管理、抜去）	看護師	※	●		集中治療室	0.4時間/月
78	血管撮影・血管内治療後の圧迫止血・止血確認・圧迫解除	看護師	※	○		放射線検査室	0.8時間/月
79	血管内治療の介助業務（血管撮影における圧迫止血・止血確認・圧迫解除を含む）	看護師	※	○		放射線検査室	—
81	各種再建手術における関連各科との調整業務	看護師	※	○		手術室	—
83	術後管理（脳神経外科）	看護師	※	○		病棟・集中治療室	—
84	術後ラウンド、術後疼痛管理	看護師	※	○		病棟・集中治療室	7.3時間/月
85	創傷治癒遅延症例に対する創管理業務	看護師	※	●		病棟	1.3時間/月
86	創管理（ドレッシング抜去、抜糸）	看護師	※	○		病棟・外来	1.7時間/月
87	病棟・周術期の創傷処置	看護師	※	○		病棟	3.8時間/月
88	体表面の切創・挫創の洗浄と縫合処置	看護師	※	○		病棟・外来	2.3時間/月
89	ドレーン抜去	看護師	※	●		病棟	0.9時間/月

※効果（推計）業務をシフト/シェアした場合、当該行為を行う医師のある病院における業務時間の実態に基づいて、医師一人あたりの月間の削減可能な時間数を推計したものの、行為によっては、看護師などの他の職種が行っているものも含まれると考えられるが、全て医師が担っているものと仮定して推計。

No.	業務内容	タスク・シフト/シェア先	医師側団体からの提案に※	現行制度上の可否	備考	主な場面	効果（推計）
90	創部ドレーンの抜去	看護師	※	●		病棟	0.1時間以下/月
94	軟膏処置	看護師	※	○		病棟・外来	0.1時間/月
95	爪切り、鶏眼処置	看護師	※	○		病棟・外来	4.2時間/月
98	一般小児病棟での胃管挿入	看護師	※	○		病棟	<一般病棟で推計> 0.1時間以下/月
99	胃管・EDチューブの挿入・管理・抜去	看護師	※	○		病棟	1.6時間/月
100	一般小児病棟・一般病棟・専門病棟（NICU/PICU/血液腫瘍など）での胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	看護師	※	●		病棟・集中治療室	<一般病棟で推計> 0.1時間以下/月
102	IVR（画像下治療）手技前の尿道カテーテル留置	看護師	※	○		放射線検査室	0.1時間以下/月
104	呼吸器管理	看護師	※	●		病棟・集中治療室・手術室	0.8時間/月
105	集中治療室における診療補助（人工呼吸器の設定、人工呼吸器からの離脱）	看護師	※	●		集中治療室	0.9時間/月
106	専門病棟（NICU/PICU/血液腫瘍など）での非侵襲的陽圧換気の設定変更	看護師	※	●		集中治療室	0.9時間/月
110	一般小児病棟・一般病棟・専門病棟（NICU/PICU/血液腫瘍など）での気管カニューレ交換	看護師	※	●		病棟・集中治療室	<一般病棟で推計> 0.1時間以下/月
112	気管チューブの位置の調整	看護師	※	●		病棟	0.8時間/月
115	専門病棟（NICU/PICU/血液腫瘍など）での経口用又は経鼻用気管チューブの位置の調整	看護師	※	●		集中治療室	0.1時間以下/月
129	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理	看護師	※	●		透析室・集中治療室	0.1時間/月
130	集中治療室における診療補助（急性血液浄化療法における血液透析濾過機器の操作と管理）	看護師	※	●		集中治療室	0.9時間/月
149	術後24時間以内の疼痛管理目的での麻薬性鎮痛薬（フェンタニル等が必要になった場合）の投与	看護師	※	○		病棟・集中治療室	0.2時間/月
150	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	看護師	※	●		病棟・集中治療室	1.6時間/月
152	専門病棟（NICU/PICU/血液腫瘍など）での人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	看護師	※	●		集中治療室	0.1時間以下/月

※効果（推計）業務をシフト/シェアした場合、当該行為を行う医師のある病院における業務時間の実態に基づいて、医師一人あたりの月間の削減可能な時間数を推計したものの、行為によっては、看護師などの他の職種が行っているものも含まれると考えられるが、全て医師が担っているものと仮定して推計。

No.	業務内容	タスク・シフト/シェア先	医師側団体からの提案に※	現行制度上の可否	備考	主な場面	効果（推計）
153	抗不安薬の臨時的投与	看護師	※	●		病棟	5.7時間/月
154	抗精神病薬の臨時的投与	看護師	※	●		病棟	0.4時間/月
155	訪問看護時の抗精神病薬持続性注射剤の筋肉内投与	看護師	※	○		医療機関外	—
156	抗けいれん剤の臨時投与	看護師	※	●		病棟	0.1時間以下/月
157	救急室（救急外来、初療室）を主とする院内・集中治療室における診療補助（抗けいれん剤投与）	看護師	※	●		救急室・集中治療室	0.1時間以下/月
158	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	看護師	※	●		集中治療室	1.4時間/月
159	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	看護師	※	●		手術室・集中治療室	0.3時間/月
160	救急室（救急外来、初療室）を主とする院内・集中治療室における診療補助（脱水症状に対する輸液）	看護師	※	●		救急室	1.0時間/月
162	外来・一般小児病棟・専門病棟（NICU/PICU/血液腫瘍など）での抗生剤等の静注	看護師	※	●		病棟・外来・集中治療室	<外来で推計> 0.1時間以下/月
163	専門病棟（NICU/PICU/血液腫瘍など）での皮下注射、筋肉注射	看護師	※	○		集中治療室	0.1時間以下/月
165	療養上の世話をタイムリーに行うための薬剤を看護師が判断・使用する（排便コントロール（下剤・浣腸剤・止痢剤・整腸剤など）スキンケア（軟膏・ドレッシング剤・目薬など）疼痛緩和（湿布・麻薬以外の鎮痛剤）など）	看護師		○		病棟	8.6時間/月
166	外来でのワクチン接種	看護師	※	○		外来	0.5時間/月
189	（IVR）術前の採血結果、リスクファクター、服薬状況のチェック	看護師・診療放射線技師	※	○		病棟	0.8時間/月 （診療放射線技師189と同様）
192	救急室（救急外来、初療室）を主とする院内での診療補助（病歴聴取、バイタルサイン測定、その結果より軽症と中等症・重症をトリアージ）	看護師・救急救命士	※	○		救急室	2.9時間/月
195	リハビリテーション保険診療に関する各種書類の説明、交付業務（リハビリテーション総合実施計画書、計画提供料に関わる書類、目標設定等支援・管理シート等）	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師等	※	○		リハビリ室	6.3時間/月 （理学療法士195と同様）
197	専門病棟（NICU/PICU/血液腫瘍など）での輸血、放射線検査などの医行為の典型的な説明補助	看護師	※	○		集中治療室	0.1時間/月
199	非侵襲的検査の検査説明・同意書の取得	看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医師事務作業補助者	※	○		リハビリ室・外来・病棟	7.2時間/月 （理学療法士199と同様）
200	IVR（画像下治療）手技前回診での検査説明	看護師・診療放射線技師	※	○		病棟	（看護師189と同様）

※効果（推計）業務をシフト/シェアした場合、当該行為を行う医師のある病院における業務時間の実態に基づいて、医師一人あたりの月間の削減可能な時間数を推計したものの、行為によっては、看護師などの他の職種が行っているものも含まれると考えられるが、全て医師が担っているものと仮定して推計。

No.	業務内容	タスク・シフト/シェア先	医師側団体からの提案に※	現行制度上の可否	備考	主な場面	効果（推計）
201	検査（CT、MRI、RI）前の同意書取得・副作用説明・問診	看護師・診療放射線技師・医師 事務作業補助者	※	○		外来・病棟	3.7時間/月 （診療放射線技師201と 同様）
203	パッチテスト、ブリックテストの試薬等の準備、説明	看護師	※	○		外来	6.6時間/月
204	術前オリエンテーション・リスク評価、麻酔に関する説明	看護師	※	○		病棟・外来	9.1時間/月
209	外用（薬）指導	看護師	※	○		外来・病棟	0.3時間/月
210	外用（薬）指導の補助	看護師	※	○		外来・病棟	（看護師210と同様）
216	精神科入院時における支援業務	精神保健福祉士・看護師	※	○		病棟・外来	—
221	RI核種投与後、安静待機室への誘導	看護師・診療放射線技師		○		放射線検査室	0.1時間以下/月 （診療放射線技師221と 同様）
222	専門病棟（NICU/PICU/血液腫瘍など）での搬送に伴う看護業務	看護師	※	○		集中治療室	0.1時間以下/月
224	救急車での患者移送の際の同伴（重症例は除く）	看護師	※	○		患者搬送・転送	0.5時間/月
236	定型的血液検査の指示（代行）入力	看護師	※	○		病棟	1.7時間/月
238	看護師が状況を即座に見極め、医師が予め指示した状態像に該当するかを判断して、指示されていた検査（採血・培養検査・レントゲン検査など）の代行入力	看護師		○		救急室	52.5時間/月
272	特定行為とは別に侵襲性の低い医行為であれば病棟・在宅・介護施設等における包括的指示モデルを示し看護師が患者の状態に応じて柔軟に対応できるようにする	看護師		○		医療機関外	25.0時間/月

■ 診療放射線技師

24	CT/MRI造影剤の注入確認、抜針・止血	看護師・診療放射線技師	※	○		放射線検査室	8.1時間/月
141	イメージガイド下放射線治療（IGRT）での位置照合画像の一次照合	診療放射線技師		○		放射線治療室	13.6時間/月
189	（IVR）術前の採血結果、リスクファクター、服薬状況のチェック	看護師・診療放射線技師	※	○		病棟	0.8時間/月
198	<放射線>検査に関する説明・相談	診療放射線技師		○		外来・病棟	造影CT検査の説明・相談 の場合で試算 2.0時間/月
200	IVR（画像下治療）手技前回診での検査説明	看護師・診療放射線技師	※	○		病棟	（189に同様）

※効果（推計）業務をシフト/シェアした場合、当該行為を行う医師のある病院における業務時間の実態に基づいて、医師一人あたりの月間の削減可能な時間数を推計したもの。
行為によっては、看護師などの他の職種が行っているものも含まれると考えられるが、全て医師が担っているものと仮定して推計。

No.	業務内容	タスク・シフト/シェア先	医師側団体からの提案に※	現行制度上の可否	備考	主な場面	効果（推計）
201	検査（CT、MRI、RI）前の同意書取得・副作用説明・問診	看護師・診療放射線技師・医師 事務作業補助者	※	○		外来・病棟	3.7時間/月
221	RI核種投与後、安静待機室への誘導	看護師・診療放射線技師		○		放射線検査室	0.1時間以下/月
277	医療放射線の安全管理責任者<医療放射線被曝線量の評価及び最適化、過剰被曝した発生した場合の調査及び改善対策等立案など>	診療放射線技師		○		放射線検査室	1.3時間/月
279	超音波スクリーニング検査施行、異常を疑った際の放射線科医への連絡	診療放射線技師	※	○		超音波検査室	—
280	胃透視施行、異常を疑った際の放射線科医への連絡	診療放射線技師	※	○		放射線検査室	—
281	注腸透視施行、異常を疑った際の放射線科医への連絡	診療放射線技師	※	○		放射線検査室	—

■ 臨床検査技師

27	（表在における）各種超音波検査	臨床検査技師		○		検査室	0.7時間/月
120	血液製剤の洗浄・分割	臨床検査技師		○		検査室	—
121	血液細胞（幹細胞等）処理業務	臨床検査技師		○		検査室	10時間/月
122	手術検体等に対する病理診断における切り出し補助業務	臨床検査技師	※	○		病理室	4.5時間/月
123	手術材料の切り出し	臨床検査技師		○		病理室	（臨床検査技師122と同様）
124	画像解析システムによるコンパニオン診断（免疫染色）等に対する計数・定量判定補助	臨床検査技師	※	○		病理室	5.0時間/月
125	デジタル病理画像の取り込み・機器の調整・データ管理等	臨床検査技師	※	○		病理室	7.2時間/月
126	病理診断報告書のチェック	臨床検査技師	※	○		病理室	5時間/月
127	生検材料、特殊染色、免疫染色等のスクリーニング（所見の下書きの作成）	臨床検査技師		○		病理室	2.8時間/月
167	糖負荷試験のブドウ糖液の投与	臨床検査技師		○		検査室・外来	1.5時間/月
168	尿素呼気試験の尿素錠の投与	臨床検査技師		○		検査室・外来	0.1時間以下/月

※効果（推計）業務をシフト/シェアした場合、当該行為を行う医師のある病院における業務時間の実態に基づいて、医師一人あたりの月間の削減可能な時間数を推計したものの、行為によっては、看護師などの他の職種が行っているものも含まれると考えられるが、全て医師が担っているものと仮定して推計。

No.	業務内容	タスク・シフト/シェア先	医師側団体からの提案に※	現行制度上の可否	備考	主な場面	効果（推計）
169	脳波検査時の睡眠導入剤の投与<小児>	臨床検査技師		○		検査室	0.3時間/月
170	呼吸機能検査（気道可逆性検査）時の気管支拡張剤の投与	臨床検査技師		○		検査室・外来	1.0時間/月
190	検査の際の患者バイタル確認	臨床検査技師		○		検査室・外来・病棟	—
191	輸血後副作用確認のための観察	臨床検査技師		○		病棟・集中治療室	—
202	輸血承諾書の取得（医師の説明の補足）	臨床検査技師		○		病棟	0.1時間以下/月
205	輸血関連検査結果説明<主に不規則抗体や血液型結果の異常についての説明>	臨床検査技師		○		病棟	0.1時間以下/月
278	胚培養全般、培養室の実務・運営	臨床検査技師		○		検査室	—
283	検査所見の臨床検査技師による報告	臨床検査技師		○		検査室	0.3時間/月

■ 薬剤師

68	手術室関連の業務支援（周術期に使用する薬剤の薬学的管理等）	薬剤師		○		手術室	—
69	術中 薬剤払い出し、残薬回収	薬剤師	※	○		手術室	6.9時間/月
82	術後 鎮痛薬調製・投与器具準備	薬剤師	※	○		手術室	1.0時間/月
147	処方薬の変更・他院持参薬の処方（代行入力）	薬剤師	※	○		院内薬局	—
175	薬剤管理（ミキシング・残薬管理・薬剤の準備・在庫管理等）	薬剤師		○		院内薬局薬局・病棟	—
176	処方医の事前の指示に基づき、問題が認められない場合は、薬局薬剤師が分割調剤（同一薬剤の継続投与）を実施	薬剤師		○		院外薬局	—
177	事前に作成・合意されたプロトコールに基づく、含量規格や剤形等の処方内容の変更	薬剤師		○		院内薬局	—
178	事前に作成・合意されたプロトコール及び薬剤師による専門的知見に基づき、薬剤の種類、投与量等の変更～薬物療法のモニタリングの実施とその結果に伴う処方内容の見直しの提案～	薬剤師		○		院内薬局	—
179	術前服薬内容チェック・処方提案	薬剤師	※	○		病棟・院内薬局	6.8時間/月

※効果（推計）業務をシフト/シェアした場合、当該行為を行う医師のある病院における業務時間の実態に基づいて、医師一人あたりの月間の削減可能な時間数を推計したものの、行為によっては、看護師などの他の職種が行っているものも含まれると考えられるが、全て医師が担っているものと仮定して推計。

No.	業務内容	タスク・シフト/シェア先	医師側団体からの提案に※	現行制度上の可否	備考	主な場面	効果（推計）
180	抗菌薬の治療コントロール処方提案（医師の包括的指示と同意がある場合には医師の最終確認・再確認を必要とせず実施）	薬剤師		○		病棟・院内薬局	—
181	薬剤選択、多剤併用薬に対する処方提案（医師の包括的指示と同意がある場合には医師の最終確認・再確認を必要とせず実施）	薬剤師		○		病棟・院内薬局	—
182	術後痛評価・鎮痛薬調製提案・術前中止薬再開確認	薬剤師	※	○		病棟	（薬剤師82に含む）
183	入院、外来における患者面談情報（服用中の薬剤情報、副作用や残薬の有無等）に基づく処方支援（処方の提案や仮オーダー入力）	薬剤師		○		病棟	—
184	医師の診断・検査結果に基づく処方支援	薬剤師		○		院内薬局	—
185	抗がん薬や抗菌薬、向精神薬等の投与後の服薬状況や副作用を継続して確認した上で、必要に応じて処方医等へ情報提供～薬物療法のモニタリングの実施とその結果に伴う処方内容の見直しの提案～	薬剤師		○		院内薬局	—
186	患者の服薬状況を確認すると共に、必要に応じてフィジカルアセスメントを実施し、副作用の発現状況を確認した上で、処方医等へ情報提供～薬物療法のモニタリングの実施とその結果に伴う処方内容の見直しの提案～	薬剤師		○		院内薬局	—
187	処方歴や薬物アレルギーの有無等の医薬品関連情報について、医師の診療情報提供書の作成支援～薬物療法に関する説明や薬に関する患者情報の提供等のサポート～	薬剤師		○		院内薬局	—
188	分割調剤の都度（すなわち定期的）、処方医の事前の指示に基づき、処方箋を応需した薬局薬剤師が患者の副作用の発現状況や服薬状況の確認等を実施（必要に応じて処方医への情報提供）～定期的に患者の副作用の発現状況や服薬状況の確認等を行うための分割調剤～	薬剤師		○		院外薬局	—
208	<小児科>外来での薬の説明や服薬指導	薬剤師	※	○		外来	0.1時間以下/月
213	患者の薬物療法全般に関する理解の推進～薬物療法に関する説明や薬に関する患者情報の提供等のサポート～	薬剤師		○		外来・病棟	—

■ 理学療法士

195	リハビリテーション保険診療に関係する各種書類の説明、交付業務（リハビリテーション総合実施計画書、計画提供料に関わる書類、目標設定等支援・管理シート等）	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師等	※	○		リハビリ室	6.3時間/月
196	リハビリテーション実施計画等の作成と患者への説明	理学療法士		○		リハビリ室	10.6時間/月
199	非侵襲的検査の検査説明・同意書の取得	看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医師事務作業補助者	※	○		リハビリ室・外来・病棟	7.2時間/月

■ 作業療法士

33	神経学的検査等のうち、運動、感覚、高次脳機能、ADL、IADL等に関する検査	作業療法士		○		リハビリ室	0.6時間/月
220	生活状況（ADL、IADL、本人の趣味・興味・関心領域等）、療養上の課題の聞き取り、把握	作業療法士		○		リハビリ室・外来・病棟	—

※効果（推計）業務をシフト/シェアした場合、当該行為を行う医師のある病院における業務時間の実態に基づいて、医師一人あたりの月間の削減可能な時間数を推計したもの。行為によっては、看護師などの他の職種が行っているものも含まれると考えられるが、全て医師が担っているものと仮定して推計。

No.	業務内容	タスク・シフト/シェア先	医師側団体からの提案に※	現行制度上の可否	備考	主な場面	効果（推計）
199	非侵襲的検査の検査説明・同意書の取得	看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医師事務作業補助者	※	○		リハビリ室・外来・病棟	(理学療法士199と同様)

■ 視能訓練士

65	白内障及び屈折矯正手術におけるオペレーター業務	視能訓練士		○		手術室	0.5時間/月
274	検診業務における視機能管理業務	視能訓練士		○		医療機関外	—

■ 臨床工学技士

5	(医師の具体的指示を受けて行わなければならない) 動脈留置カテーテルからの採血	臨床工学技士		○		手術室・集中治療室	—
20	輸液ポンプ等を用いた薬液投与のための中心静脈カテーテルの留置時の清潔補助	臨床工学技士		○		集中治療室・手術室	6.6時間/月
51	術後各種機器の回収・保守点検、鎮痛薬投与ポンプデータの解析	臨床工学技士	※	○		手術室	—
55	手術の器械出し	臨床工学技士	※	○		手術室	—
67	(医師の具体的指示を受けて行わなければならない) 人工心肺業務における血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更	臨床工学技士		○		手術室	—
70	麻酔科医が術前に行う麻酔管理の補助 <麻酔器、気管挿管や使用薬剤の準備(麻酔計画に従い)>	臨床工学技士		○		手術室	2.4時間/月
73	麻酔科医が術中に行う麻酔管理の補助 <バイタルサインの確認、麻酔記録の記入>	臨床工学技士		○		手術室	11時間/月
74	麻酔科医が術後に行う麻酔管理の補助(集中治療を含む) <各種ラインの整理、麻酔医とともに患者退室の誘導>	臨床工学技士		○		手術室	0.2時間/月
76	補助循環に用いる各種カテーテルの挿入時の清潔補助	臨床工学技士		○		手術室・集中治療室	5.3時間/月
108	人工呼吸器からのウィーニング	臨床工学技士		○		病棟・集中治療室	0.2時間/月
109	人工呼吸器使用時の吸引による喀痰等の除去	臨床工学技士		○		病棟・集中治療室	—
131	(医師の具体的指示を受けて行わなければならない) 血液浄化業務における血液、補液及び薬剤の投与量の設定及び変更	臨床工学技士		○		透析室・集中治療室	—
134	血液浄化に用いるカテーテル留置時の清潔補助	臨床工学技士		○		透析室・集中治療室	0.1時間/月
230	心臓植込みデバイスに対する遠隔モニタリングのデータ読み込み及び記録	臨床工学技士		○		病棟	—

※効果（推計）業務をシフト/シェアした場合、当該行為を行う医師のある病院における業務時間の実態に基づいて、医師一人あたりの月間の削減可能な時間数を推計したものの、行為によっては、看護師などの他の職種が行っているものも含まれると考えられるが、全て医師が担っているものと仮定して推計。

No.	業務内容	タスク・シフト/シェア先	医師側団体からの提案に※	現行制度上の可否	備考	主な場面	効果（推計）
231	術前シリンジポンプ・フットポンプ、麻酔関連機器の保守点検と準備	臨床工学技士	※	○		医療機器管理室・手術室	—
232	医療機器の管理（機器の取り寄せ・管理・補充・返却）	臨床工学技士		○		医療機器管理室・病棟	—
233	在宅医療に関わる医療機器管理	臨床工学技士		○		医療機関外	—
234	術中麻酔関連機器の修理・対応	臨床工学技士	※	○		手術室	—

■ 義肢装具士

217	切断者への断端管理に関する指導	義肢装具士		○		病棟・外来	0.2時間/月
-----	-----------------	-------	--	---	--	-------	---------

■ 救急救命士

223	救急室（救急外来、初療室）を主とする院内での患者移送	救急救命士	※	○		救急室	0.7時間/月
225	病院救急車での患者の観察と処置	救急救命士	※	○		救急車	4.4時間/月
241	救急室（救急外来、初療室）を主とする院内での診療経過の記録	救急救命士	※	○		救急室	0.7時間/月
273	救急室（救急外来、初療室）を主とする院内での救急車の受入要請への対応	救急救命士	※	○		救急室	—

■ 言語聴覚士

52	高次脳機能障害（認知症含む）、失語症、言語発達障害、発達障害などの評価に必要な臨床心理・神経心理学検査種目の選択・実施及び検査結果の解釈	言語聴覚士		○		リハビリ室	5.1時間/月
270	嚥下リハビリ・摂食機能療法における食物形態等の選択	言語聴覚士		○		リハビリ室	3.4時間/月
195	リハビリテーション保険診療に関係する各種書類の説明、交付業務（リハビリテーション総合実施計画書、計画提供料に関わる書類、目標設定等支援・管理シート等）	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師等	※	○		リハビリ室	（理学療法士195と同様）
199	非侵襲的検査の検査説明・同意書の取得	看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医師事務作業補助者	※	○		リハビリ室・外来・病棟	（理学療法士199と同様）

■ 医師事務作業補助者

193	患者への問診	医師事務作業補助者	※	○		外来	1.5時間/月
194	病歴（予診）聴取	医師事務作業補助者	※	○		外来	—
199	非侵襲的検査の検査説明・同意書の取得	看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	7.2時間/月

※効果（推計）業務をシフト/シェアした場合、当該行為を行う医師のある病院における業務時間の実態に基づいて、医師一人あたりの月間の削減可能な時間数を推計したものの、行為によっては、看護師などの他の職種が行っているものも含まれると考えられるが、全て医師が担っているものと仮定して推計。

No.	業務内容	タスク・シフト/シェア先	医師側団体からの提案に※	現行制度上の可否	備考	主な場面	効果（推計）
201	検査（CT、MRI、RI）前の同意書取得・副作用説明・問診	看護師・診療放射線技師・医師 事務作業補助者	※	○		外来・病棟	3.7時間/月 （診療放射線技師201と 同様）
206	検査手順の説明業務	医師事務作業補助者		○		外来	1.2時間/月
207	入院の説明・同意書の取得	医師事務作業補助者	※	○		外来	4.8時間/月
240	入院決定後の入院時指示	医師事務作業補助者	※	○		外来	2.4時間/月
242	診療録作成補助・救急外来における病歴聴取の電子カルテ記載	医師事務作業補助者	※	○		救急室	4.0時間/月
243	医療記録（電子カルテの記載）	医師事務作業補助者		○		外来	<外来で推計> 23.7時間/月
244	カルテ記載補助業務	医師事務作業補助者	※	○		外来	5.0時間/月
245	診察や検査の予約、診療録への記録	医師事務作業補助者	※	○		外来	—
246	カンファレンス・回診の記録・オーダーなど入院業務の補助	医師事務作業補助者	※	○		病棟	18.9時間/月
247	外来初診時、退院時、認知行動療法など精神科特殊療法としての精神療法施行時における診療記録代行入力	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	—
248	診療録・手術記録の入力	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟・手術室	—
249	臨床写真の整理、電子カルテへの取り込み	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	0.3時間/月
250	予約関連（入力、変更連絡）、処方箋の捺印	医師事務作業補助者	※	○		外来	12.2時間/月
251	病名仮入力（DPCの一部の入力代行・各種サマリーの訂正）	医師事務作業補助者	※	○		病棟	3.3時間/月
252	病名入力、コスト入力、DPC入力	医師事務作業補助者	※	○		病棟	4.5時間/月
254	診断書作成補助業務	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	0.8時間/月
255	特定疾患書類や診断書などの下書きもしくは仮作成	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	1.8時間/月
256	書類・診断書・入退院サマリーの作成	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	16.7時間/月

※効果（推計）業務をシフト/シェアした場合、当該行為を行う医師のある病院における業務時間の実態に基づいて、医師一人あたりの月間の削減可能な時間数を推計したものの、行為によっては、看護師などの他の職種が行っているものも含まれると考えられるが、全て医師が担っているものと仮定して推計。

No.	業務内容	タスク・シフト/シェア先	医師側団体からの提案に※	現行制度上の可否	備考	主な場面	効果（推計）
257	リハビリテーション診療に係る各種書類の草案作成（廃用症候群に関わる評価票、身体障害者手帳申請書類、入院証明書、診療情報提供書、介護保険主治医意見書、診断書等等）	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	0.9時間/月
258	意見書・申請書および行政への書類の下書き（診断書下書き・定型診断書の作成・紹介状返書の下書き）	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	1.9時間/月
259	診断書（殊に年金診断書など手書きのもの）・意見書の作成	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	—
261	症例登録等の各種統計資料の作成	医師事務作業補助者		○		外来・病棟	2.5時間/月
262	診療データ入力、抽出、解析業務	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	3.3時間/月
263	手術件数と内容のまとめ	医師事務作業補助者	※	○		手術室	0.1時間/月
264	新患台帳作成補助業務	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	3.3時間/月
265	全国調査の患者情報記載	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	4.2時間/月
266	市販後調査のEDC入力	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	2.0時間/月
267	他院が主施設の臨床研究の申請書類の作成	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	5.0時間/月
268	医師の当直表作成業務	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	0.5時間/月
269	カンファレンス準備業務	医師事務作業補助者	※	○		外来・病棟	2.9時間/月

※効果（推計）業務をシフト/シェアした場合、当該行為を行う医師のある病院における業務時間の実態に基づいて、医師一人あたりの月間の削減可能な時間数を推計したもの。行為によっては、看護師などの他の職種が行っているものも含まれると考えられるが、全て医師が担っているものと仮定して推計。